

# のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

7月17日(土)と18日(日)の両日、JR幌別駅前とアーニス広場を会場に、「'99のぼりべつ豊水まつり」が開かれました。

祭りでは、「豊水裸みこし」や「よさこいソーラン」(写真)など、さまざまなイベントが行われ、訪れた観客は祭りの熱気を満喫していました。

|| 特集 ||

有料化元年

## 特集

# 有料化元年

人とごみとの新しい関係



分別の徹底が求められる  
P3~9



平成12年から稼働する  
新ごみ処理施設  
P5



一人ひとりが排出ルールを守る  
P8~9

ごみ有料化の実施まで、残すところ8カ月となりました。  
有料化は、排出したごみの量に応じて、各家庭にその費用の一部を負担していただくだけではなく、限りある資源を安易にごみとして排出している私たちの日常そのものを見直していかなければならないものです。  
有料化実施の前に、ちょっと自宅のごみ箱をのぞいてみませんか。



ダイオキシン対策  
P5



増え続けるごみ  
P3

私たちにとって「ごみ」とは、いったいなんなのでしょう？

「ごみ」。

私たちは、この言葉の持つ意味をあまり深く考えることなく日常生活の中で使っていますが、「ごみ」とはいったい何を指す言葉でしょうか。私たちが生活していく上で必要とされ、暮らしに潤いや張りを与えてくれたもの、生きていくために欠かすことのできない栄養を与えてくれたものなどが、その利用価値を失ったときに新たにつけられる名前。

それが「ごみ」です。

生産と消費は、私たち人間が生きていくために絶つことのできないサイクルではありますが、現代社会ではこのサイクルが、どんどん短縮しているのではないのでしょうか。節約こそ美德という概念が希薄となり、浪費ともいえる使い捨て感覚が私たちの心に蔓延しています。

またまだ使える新品同然のものをごみステーションに捨て、飽くことのない購買心を満たすのは個人の自由ですが、資源の有効利用や環境問題などを一人ひとりが考えなければならぬ現代では、購入時だけではなく、廃棄するときにも個人の責任が求められます。



▲資源の浪費ともいえる大量のごみ。重要な資源として、これらのごみは有効に活用されたのだろうか



▲各家庭から排出されるごみはわずかでも、まち全体では膨大な量になる

## 生活の豊かさにごみの量の増加が比例しない社会を

各家庭から排出されるごみは増加の傾向にあり、全国では平成元年度以降、毎年、年間約5千万トンのごみが排出されています。

今から5年前の平成6年度には、東京ドーム136杯分・5千54万トンのごみが排出されているのです。

ごみ排出量の増加は、ここ登別市も例外ではなく、平成9年度の処理量は約2万5千トンで、市民一人あたりに換算すると一日約1.24%のごみが排出されています。

物質文明に生きる私たちにとって、ごみを排出しないで生活することは困難なことです。

どんな生物でもいわゆる「ごみ」を排出しますが、自然の浄化作用で塵に戻すことのできない「ごみ」を出しているのは私たちが人間だけ

です。

科学が進み、生活が豊かになる一方、処理に困るごみを大量に排出し続けているのは私たち一人ひとりであって、ごみ処理にかかわる問題は人ごとではないのです。

ごみの量の増加は、各家庭のごみ排出量の増加に一因があり、各家庭から1日に排出されるごみが100%増えただけで、登別市全体の年間ごみ排出量は何百%という単位で増加します。

「地球の環境を守る」と大上段に構えなくても、ごみ処理に無関心のままごみを排出していると、資源の減少、生活環境の悪化、処理費用の増加など、さまざまな問題が深刻化し、私たちの生活を圧迫することになります。

それでは、将来的に安定した生活を実現するためには、具体的にどんな方法があるのでしょうか。

ごみを減らし、分別を徹底する。リサイクルや再利用を考える。一人ひとりが身近なところから始めることで、私たちは豊かな未来を築いていけるのではないのでしょうか。



▲失うのは簡単でも、元に戻すことが困難な美しい自然



# 現代ごみ事情 増え続けるごみ

来年  
4月1日

# 有料化実施



市民と行政が共にごみに  
ついて真剣に取り組む。  
それが、有料化

現在、登別市では、燃やせるごみを幸町の清掃工場（焼却処理施設）で焼却し、燃やすことのできないごみを千歳町の最終処分場に埋め立てています。

しかし、排出されるごみの量や現清掃工場で燃やすことのできないプラスチック類のごみが増加しているため、老朽化した現施設ではその処理が難しい状況にあります。

そして、これらの燃やすことのできないごみを処理している最終処分場も数年のうちには埋め立てできなくなります。

そのため、市は、平成9年度から平成11年度までの3カ年で約90億円を投じ、従来の施設に代わる「新ごみ処理施設」（中間処理施設・最終処分場）を建設していま

## 家庭系のごみ

### ◎指定ごみ袋

指定ごみ袋 10リットル	→	20円
指定ごみ袋 20リットル	→	40円
指定ごみ袋 30リットル	→	60円
指定ごみ袋 40リットル	→	80円

### ◎ごみ処理券

1枚 → 160円

### ◎一時的に大量に出るごみ

100kgほど → 240円

### ◎燃やせるごみも

燃やせないごみも一律

100kgほど → 240円

## 事業系のごみ

す。

市は、これまで、事業系や引越しなどで一時的に多量に出されるごみについては有料で処理を行い、各家庭から排出されるごみの処理費用は無料としてきましたが、今後も市税などの市の財源のみで、新施設建設に伴う起債の償還費や現施設を上回る運営管理費を負担し、なおかつ多様化する市民ニーズに対応していくことは困難な状況にあります。

市は、早くからごみの有料化を実施する必要があると考え、市民のみなさんにごみ分別の徹底を呼び掛けるほか、処理経費の節減を徹底し、市としてもなすべきことを行ってまいりましたが、平成12年からは、各家庭などから排出されるごみの量に応じて、処理費用の一部を市民のみなさんにも負担していただき、市民と行政が共にごみについて取り組んでいきたいと考えています。

## 有料化は従量制を採用し、負担の公平化を図ります

市は、新ごみ処理施設の稼働に合わせ、ごみの有料化を平成12年4月1日から実施します。

有料化は、同じく4月から本格的に実施される新たなごみ分別に基づいて行われ、この新分別は有料化に先立ち、試行として平成12年1月から「事業系のごみ」を、2月からは「家庭系のごみ」を対象に実施します。

ごみ処理手数料の金額は、近隣都市とのバランスやごみ処理に要する経費から算定したもので、負担の公平化を図るためにも、排出するごみの量に応じた「従量制」を採用し、「指定ごみ袋」または「ごみ処理券」（シール）を各家庭に購入していただきます。

指定ごみ袋は、容量に応じた4種類で、10kgが20円、20kgが40円、

30kgが60円、40kgが80円としています。ごみ処理券は、指定ごみ袋に入らないごみや粗大ごみを排出するときに使用するもので、1枚160円です。

また、引越しなどで一時的に大量に出るごみは、100kgごとに240円がかかります。

指定ごみ袋やごみ処理券は、登別市内の小売店で販売する予定で、今後、広報紙などでお知らせしていきます。

ごみの有料化は、ごみの排出量に応じた負担をしていただくものですが、在宅の寝たきり高齢者世帯や心身に障害をもつ方などに対しては、負担が軽減されるよう配慮するほか、清掃活動を行う町内会やボランティア団体などについては、公用袋を利用していただき、今まで通り無料で処理していただきます。

なお、従来、燃やせないごみとして排出されることが多かったびんや缶は、資源ごみとして無料で収集しますので、徹底した分別が必要となります。

事業系のごみについては、これまで「燃やせるごみ」が100kgごとに160円、「燃やせないごみ」が100kgごとに190円の処分手数料がかかっていましたが、平成12年4月1日からは「燃やせるごみ」も「燃やせないごみ」も一律、100kgごとに240円の処分手数料がかかります。

# 新ごみ処理施設と広域化

市は、設備の老朽化などが著しい清掃工場（焼却処理施設）と、数年のうちに埋め立てできなくなる千歳最終処分場に代わる新たなごみ処理施設（中間処理施設・最終処分場）の建設を平成9年から行っています。

## ◎中間処理施設「クリンクルセンター」

新たな中間処理施設として、幸町の現清掃工場横に建設している「クリンクルセンター」は、現清掃工場を上回る焼却処理能力やごみの減量・減容化、資源化、再生などの機能を併せ持ち、大きく「焼却処理施設」と「リサイクルプラザ」に分かれます。

### ●焼却処理施設

現在、燃やせないごみとして、市の最終処分場で埋め立て処分しているプラスチック・ビニール・発泡スチロールなどの高カロリーごみを焼却することができ、あわせて下水道汚泥やし尿処理汚泥も焼却することができます。

ごみの焼却によって発生する余熱は、工場棟の暖房・給湯、市民ギャラリー（温室）などで利用し

ます。また、この施設では、国が定めるダイオキシン類の排出規制値を下回る、 $0.1 \mu\text{g}/\text{kg}$ （ $1 \mu\text{g}/\text{kg}$ は1%の10億分の1）以下まで排出値を下げるができます。

### ●リサイクルプラザ

リサイクルプラザは、ごみの減量・減容化、資源化、再生などを進める中核施設で、大きく五つの施設に分かれます。

①**破碎処理施設** 燃やせないごみや粗大ごみは、この施設で粉碎された後、有価物・不燃物・可燃物の3種類に選別され、有価物は資源としてリサイクルし、可燃物は焼却、不燃物は最終処分場に埋め立てします。

②**資源化施設** ごみステーションから回収した資源ごみ（缶・びん・ペットボトル）を選別し、リサイクルできる資源ごみの有効利用を図ります。

③**再生展示施設** 粗大ごみなどの中から、リサイクルが可能な家具などを修理し、みなさんに再利用してもらいます。

④**市民ギャラリー** ごみの焼却余熱を利用した市民ギャラリー（温室）を各種団体のイベントやみな

さんの憩いの場として開放します。

⑤**高速堆肥化処理施設** 登別温泉街のホテルや旅館、給食センターなどから多量に出される事業系の生ごみを堆肥化し、製品は市民のみなさんに利用してもらいます。

## ◎最終処分場

現在の千歳最終処分場では、燃やせないごみや粗大ごみなどを埋め立て処分していますが、新しい処分場では燃え殻や破碎不燃物のみを受け入れることとなります。

また、処分場内にたまった浸出水が地下水を汚染しないように、処分場全体に遮水シートを張り、浸出水を集め、浸出水処理施設で浄化処理をした後、排水します。最終処分場の建設資材の一部には、遮水シートを日射から保護するためのソイルセメントの定着・ひび割れなどを防ぎ、緩衝効果を考慮



▲最終処分場で再利用されている古タイヤ

して、登別資源リサイクル協会や市民のみなさんから寄せられた不用品が利用されています。

## クリンクルセンターは、広域で利用

健康に暮らせる環境づくりを進めるため、ダイオキシン類の排出抑制基準値を国が示しましたが、小規模の地方自治体のみで新基準をクリアしていくことは難しく、広域的にごみ処理をしていく必要がでてきました。クリンクルセンターは、国が定めるダイオキシン類の排出抑制基準を下回るように設計されていますが、白老町の現処理施設ではその基準をクリアできず、また、ごみの処理量や莫大な設備投資を必要とすることから単独で新たな施設建設も極めて困難な状況にあります。

そのため、北海道の指導の下、登別市が建設しているクリンクルセンターで、登別市のごみだけではなく、白老町のごみも併せて処理し、白老町には新ごみ処理施設の建設費や運営費などを、人口や処理量に応じて負担をってもらうことになりました。



# ごみステーション は、ごみ捨て場じゃ ないんです。

おおしまとみ  
大島富枝さん

昭和9年9月生  
まれ。64歳。  
新生北町内会の  
婦人部長とク  
リーンリーダー  
を兼務。新生町  
在住。



私たちの町内会には私を含めて8人のク  
リーンリーダーがいて、ごみの排出ルールを  
守るように呼びかけていますが、なかなか徹  
底されません。

排出日を守らなかつたり、明らかに分別を  
していないと分かるごみは、ごみ袋の中を確  
認して排出した人に引き取ってもらっています。  
クリーンリーダーといっても、特別な権  
限をもっているわけではないですから、ごみ  
の排出ルールを守らない人の家にごみ袋を  
持っていくと、時には逆に文句を言われるこ  
とがあります。でも、私はその人にこう話す  
んです。「ごみステーションは、ごみ捨て場  
じゃないんですよ。ルールを守ってください  
!」と。

ごみの分別や排出方法は、いわば社会の  
ルールです。私たちクリーンリーダーに言わ  
れたから守るのではなく、有料化と新分別の  
開始を機に、自身のモラルを見つめ直してい  
ただきたいですね。

こほりきこ  
古原久子さん

昭和12年3月生  
まれ。62歳。  
登別消費者協会  
の役員の一  
人として消費  
者の生活を守  
るために活動  
。富士町在住。



ごみの減量・減容化は、私たち消費者はもち  
ろんです。売り手である事業主の方にも  
真剣に取り組んでほしいですね。

近ごろの商品は、過剰包装気味のものかと  
ても多いと思います。特に、お中元シーズ  
ンを迎えると燃やせないごみの量がぐっと増  
えますね。缶詰やゼリーの詰め合わせなどは、  
肝心の食べ物より、ごみの量のほうが多いん  
ですよ。ごみの量を減らすには、事業主の方  
の協力が不可欠だと思います。

有料化と新分別ですが、市は、だれでも理  
解できるよう、分かりやすく説明するべきで  
すね。有料化も分別も理解されて初めて効果  
がでるものだと思いますから。

ごみの有料化について、特に異論はありま  
せん。ごみをまったく出さなくすることはで  
きませんが、ごみを減らしていくことはでき  
ると思いますし、有料化のために家計が苦し  
くなるとは思えません。生活の知恵でごみを  
減らす努力をするべきだと思います。

## ごみの減量・減容 化について、事業 主も考えてほしい。

# 自分のごみ、自分のまちに関心を持ってほしい。



藤原 鑑さん

昭和13年1月生まれ。61歳。平成11年4月から登別市婦人団体連絡協議会の会長として活躍。片倉町在住。

登別市婦人団体連絡協議会の会長に就任する前、4年間ほどクリーンリーダーとして町内のごみステーションを見回りましたが、まだまだ分別は徹底されていないと思います。

有料化が実施されると、ごみを排出するときに自分のお金がかかりますから、だれもが真剣に分別について考えるようになると思うんですよ。これまでは無関心だった人も、自分のごみを意識するようになると思います。ごみについての関心が高まり、まちが少しでもきれいになれば素晴らしいことだと思います。

ただ、一つ心配なことは、社会のルールを守らない人による不法投棄が増えるのではないかということです。家庭のごみの排出が無料の現在でさえ、不法投棄をする人がいるんですから、有料になればなおさらです。市や警察で不法投棄を取り締まるとしても限界があると思います。何でも公の機関に任せるのではなく、一人ひとりがルールを守り、ごみについて意識することが大切だと思います。



太田 遥さん

昭和61年10月生まれ。12歳。新ごみ処理施設「クリンクルセンター」の名付け親。中登別町在住。

クリンクルセンターの「クリンクル」は、「クリーン(清潔な、きれいな)」と「リサイクル」を合わせた言葉です。

新しいごみ処理施設は、まちをきれいにするから、クリーンという言葉を入れました。

学校では、教室に燃やせるごみ用と燃やせないごみ用のごみ箱を置いて、分別をしています。

家では、時々、お母さんのお手伝いをしていますので、ごみの分別も手伝っていきたいと思います。

ごみの分別を守らない大人の人がいることを聞いたことがあります、良いことじゃないと思います。

新聞紙は廃品回収に出すとか、なるべくごみの出ないものを使うとか、みんなが努力しなければいけないと思います。

登別市が、クリンクルの名前のように、クリーンでリサイクルの進んだまちになればいいと思います。

## 登別がもっとクリーンなまちになってほしい。



# 分別は各家庭から



**家庭のごみの新しい分別方法は来年2月から試行**

新ごみ処理施設は、最新の設備を持つ施設ですが、市民のみならずの分別の徹底があつてこそ、その性能を発揮することができます。

新分別は、新ごみ処理施設が本格的に稼動する平成12年4月1日から行われますが、指定ごみ袋の利用や新分別に慣れていただくため、その試行期間として事業系のごみは1月から、家庭系のごみは2月から新たな分別方法で排出していただきます。試行期間中に使用していただく家庭系の指定ごみ袋は、来年の1月中旬に町内会を通して、燃やせるごみ用16枚と燃やせないごみ用4枚を配布しますので、左の家庭系ごみの分別表にしたがつて、分別した上で指定ごみ袋で排出してください。

また、4月以降、指定ごみ袋を使用できない粗大ごみなどは、ごみ処理券を張って排出してください。中が見えない黒い袋やダンボール、レジ袋などでごみを排出することはできません。また、指定ごみ袋で排出しても分別が徹底されていないごみや資源ごみが混じっているごみ袋、収集日以外に排出されたごみについては収集せず、警告シールなどを張り、正しく排出してもらうよう指導します。なお、資源ごみについては無料で回収しますので、指定ごみ袋で



はなく、透明または半透明の袋（同種のレジ袋も利用できます）をご利用ください。

この新分別方法は、従来行ってきたリサイクルを徹底し、再利用できる資源ごみと焼却・埋め立て処分するごみを細かく分別して限られた資源を有効に利用しようとするものです。ごみの分別が徹底されると各家庭の経済的な負担が減るだけではなく、資源ごみの回収率も上がり、資源の再利用を促進することができま。コンポスト容器などの利用で生ごみを堆肥化したり、まだ使えるものを安易にごみとして排出せず、燃やせるごみや燃やせないごみを減らすことで、施設の運転費用の節減、焼却炉や最終処分場などの延命につながり、節減できた経費は、新たなまちづくりに使つていくことができます。

新分別方法は「家庭系ごみの新しい分別・排出・収集方法」（表）のようになりますが、詳しいごみの分別・排出・収集方法などについては、今後も「広報のほりべつ」などで紹介するほか、10

月から町内会単位での説明会を開催し、詳しく紹介していきたいと考えています。

## 市民のみなさんの利便性を考慮した収集方法を

新分別の開始にあわせて、収集開始時間を現行の朝9時から1時間早めた朝8時から行うほか、収集日もこれまでの月曜日から金曜日に、土曜日と祝日を加え、正月明けの1月4日には、燃やせるごみを一斉収集します。

「燃やせるごみ」は週2回、「資源ごみ」は週1回、「燃やせないごみ」と「有害ごみ」は月2回収集し、「粗大ごみ」は年2回収集による申し込みで個別収集するほか、市内の全ステーションの看板を平成12年2月までに市が取り換え、利用しやすいごみステーションを目指します。

## 分別の徹底は、ごみの減量・減容化、資源化につながります

私たちが、毎日、ごみとして排出しているものの中には、リサイ



▲コンポスト容器の利用で生ごみを減らすことができて

クルでできるものがたくさん混じっています。

平成9年度に国が行ったごみ質調査によると、各家庭から排出されるごみの約22%が、缶、びん、紙、プラスチックなどの資源物で占められているという結果が出ています。

分別の徹底は資源物の有効利用を進めます。例えば、毎日台所から出る生ごみはコンポスト容器を利用することで、1カ月約20kg以上を減量することができます。

また、家庭で不用になつたものでもまだまだ利用できるものであれば、ごみとして排出せず、不用品ダイヤル市に登録したり、リサイクルプラザに自己搬入したりすることで、不用品の有効利用を図ることができま。

市は、今後ともごみ処理経費削減のため、民間の力を活用するとともに作業効率の向上などに取り組んでいきますが、市民のみなさんの理解と協力なくして、効果的な節減は望めません。

来年4月からのいよいよ有料化が始まります。平成12年は、登別市に暮らす私たちにとつて、有料化元年となる重要な年です。

この年を単に有料化が始まるだけの年とは考えず、資源を大切にすることを再認識し、一人ひとりがごみの減量化や排出ルールの厳守を決意する「元年」としなくてはなりません。





# 家庭系のごみの 新しい分別・排出・収集方法

	分別方法	出し方	排出先	収集方法	料金	
燃やせるごみ	生ごみ類	料理くず、残飯、野菜、果物、卵の殻、魚、貝殻、漬物など	指定ごみ袋(黄色)またはごみ処理券を利用してください。 ※指定ごみ袋に入らないときは、重さ10kg程度にして束ねて出してください。	週2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定ごみ袋               <ul style="list-style-type: none"> <li>◆10kg…20円</li> <li>◆20kg…40円</li> <li>◆30kg…60円</li> <li>◆40kg…80円</li> </ul> </li> <li>○ごみ処理券…160円(単品ごとに1枚)</li> </ul>	
	紙類	紙くず、紙コップ、ちり紙、再生できない紙、キッチンペーパー、紙箱、紙袋など				
	繊維類	衣類、糸くず、タオル類、座布団、カーテン、クッション、じゅうたん、カーペット(一辺の長さを40cm以内に切断したもの)など				
	プラスチック類	トレイ、発泡スチロール、ビニール、ラップ、がん具、洗剤などの容器、プラスチック容器など				
	ゴム・合成皮革製品	くつ、かばん、バッグ、ベルト、サンダル、スリッパなど				
	木・竹類	枝木、庭木、板切れ、木箱、げた、割りばし、竹籠、草など				
	その他	吸い殻、食用油、紙オムツ、ペットのふんなど				
燃やせないごみ	金属類	フライパン、卓上ガスコンロ、なべ、やかん、ガスレンジ、ポータブルストーブ、ナイフ、包丁、金属容器、物干しなどのポールなど	指定ごみ袋(青色)またはごみ処理券を利用してください。 ※指定ごみ袋に入らないときは、重さ10kg程度にして束ねて出してください。	地区のごみステーションまたは自己搬入	月2回	
	木・竹類	角材、庭木、板などのほか、燃やせるごみの基準以外のもの				
	陶器・ガラス類	せとものやガラス製品(食器・花瓶・灰皿・植木鉢など)再生できないガラス製品、耐熱ガラスなど				
	家電製品類	ラジオ、ラジカセ、掃除機、除湿器、加湿器、電気かみそり、空気清浄機、時計、電話機、換気扇、ドライヤー、ビデオデッキなど				
	家具・建具・寝具類	家具、建具、ふとん、マットレス、ブラインドなど				
	その他	レジャー用品(テント・ゴムボート・釣りざおなど)、楽器、三輪車、自転車(分解したもの)、傘、スポーツ用品など				
有害ごみ	水銀などの有害物質を含むもの(体温計・ポタン電池・充電式の電化製品・蛍光管など)	透明または半透明の袋に有害ごみと表示して、燃やせないごみの収集日に出してください。	月2回	無料		
資源ごみ	缶類	飲料缶(ジュース・ビールなど)、食品缶(のり・菓子などの缶・缶詰類など)、カセットボンベ、スプレー缶など	中を洗い、キャップなどをはずして、透明または半透明の袋で出してください。	公共施設または店舗などの回収ボックスへ出してください。	週1回	無料
	びん類	飲料びん(ジュース・酒類・栄養剤など)、食品・調味料びん(しょうゆ・ソース・こしょう・つくだ煮など)				
	ペットボトル	容器に表示してある♻マークに限りです				
	紙類	紙パック(牛乳・ジュースなどの容器)				
粗大ごみ	タンス類、食器類、ソファ、こたつ、げた箱、机、ベッド、自転車、畳、じゅうたん・カーペット、テーブル、ドアなど	ごみ処理券(電話による申し込みが必要です)	個別回収または自己搬入	年2回	○ごみ処理券…160円(単品ごとに1枚)	
多量ごみ	引越し、火災、災害などで一時的に出るごみ(1世帯で1回に出すごみ量が200kgを超えるときなど)		自己搬入		100kgにつき240円	
市が収集しないごみ	バッテリー、農薬とその容器、ガスボンベ、消火器、灯油、ガソリン、漬物石、コンクリート製品、レンガ、オートバイ、スクーター、浴槽、耐火金庫、タイヤ、冷蔵庫、テレビなど					

## かわいい妖精たちが登場

7月17日(土)と18日(日)の2日間、登別マリンパークニクス前庭で、『99フラワーパレットのほりべつ』が開かれました。17日(土)に行われたオープニングセレモニーでは、今年の祭りのキャラクターである「ピクシーちゃん」に連れられて、妖精に扮した幼稚園児らが登場。ステージでは登別中学校生徒のブラスバンド演奏やPLパトンのパトン演技が披露されました。

また、会場に設けられた遊びの広場や出店などには大勢の子どもたちや家族連れが繰り出し、祭りを楽しんでいました。



## いろいろな遊びがあるんだね

7月3日(土)、市民会館で『第8回鬼っ子サミット』が開かれました。

今年は「国際交流～よその国のおもしろい遊び～」をテーマに、イギリスやホンジュラスなど登別市や室蘭市に住む、8カ国11人の外国人を招き、市内の小学生82人が参加しました。

参加者は、学校給食や遠足、塾やファミコンなど学校行事や生活習慣について尋ねたり、お手玉に似たマレーシア風の遊びや「ジェスチャー」など、楽しい外国の遊びやゲームを体験しました。



## 私たちはのほりべつの親善大使

6月22日(火)、市民会館で、登別市中学生海外派遣結団式が行われました。この海外派遣事業は、青少年が諸外国の生活や文化に接し、国際感覚豊かな人間性を育てることを目的に行っており、今年で8回目。

今回のメンバーは、門馬昭夫西陵中学校校長を団長に、市内中学校5校から選ばれた生徒7人(男子2人、女子5人)で、この日、初めて顔を合わせました。

生徒たちは、10日間にわたってデンマーク語などの研修を受けた後、8月15日から24日までデンマークに滞在し、ホームステイなどを行って親ほくを深めます。



## 全国一の監督に指導を受けて

7月3日(土)、幌別小学校体育館で、東海銀行女子陸上部の竹内伸也監督と趙友鳳コーチを招いて『陸上競技指導者養成講習会』が行われました。

同陸上部は、昨年の『全日本実業団女子駅伝大会』で優勝に輝くなどの活躍をしています。また、毎年登別市内で強化合宿を行っており、今年で9年目。

この日は、市内の小中学校の児童・生徒と指導者、一般ランナーなど57人が参加し、陸上競技の基礎的な練習方法を学びました。受講者は、正しいフォームや腕振りなどの指導を受け、真剣に取り組んでいました。



## 願いごと きらきら

7月6日(火)・7日(水)の2日間、鷺別町の新和デパート前を会場に、「第12回鷺別七夕まつり」が行われました。

会場では、鷺別小学校と若草小学校の児童が、星に思いを込めて書いた短冊約600枚が笹竹に飾られ、たくさん見物客が訪れました。

「動物たちと話したい」や「宇宙へ行って、宇宙人と一緒にサッカーがしたい」など、子どもたちの夢や願いが込められた作品38点が、市や新聞社、地元商店会などから表彰されました。



## 鉾山地区の整備のあり方に提言

6月18日(金)、「市民懇話会」(鉾山地区で活動している市民団体や地元町内会など10団体で構成)が、鉾山地区の整備のあり方やネイチャーセンター建設に関しての中間提言書を市に提出しました。

この提言は、「人と自然のふれあい拠点の形成」を目指す市の計画に参画した市民で組織された同会が、自然環境との共生や自然環境を学ぶ拠点づくりなどについて、いろいろな観点から意見交換をしてまとめたものです。市は、今後、この提言をもとに、自然環境を生かした市民の活用しやすい施設の建設などを進めていきます。



## 好プレー・珍プレーに歓声と拍手

7月4日(日)、岡志別の森運動公園野球場で、文化スポーツ振興財団主催の「市民ソフトボール大会」が開催されました。

この大会には、チーム編成が中学生以上1チーム12人以内で、市内から64歳の方を最高齢に、男子8チーム、女子3チーム、合計128人の参加がありました。

男子は、トーナメント(勝ち抜き)方式、女子はリーグ戦(総当り)方式で試合が行われ、選手の好プレーや珍プレーに両軍ベンチや観客席から大きな歓声と拍手が起こり、なごやかで楽しい親ほく大会となりました。

講師の説明を真剣に聞く受講者



市民リポーター

## 広瀬 暁さん

●ひろせ さとる  
若草町在住。62歳。

硬式野球の選手や監督経験を持つスポーツマン。趣味は登山。富士山登頂経験あり。定年退職後も旭岳などに登る。9年前から夫婦で社交ダンスを楽しむ。



◀▲レッスンの成果を披露できるダンスパーティーは人気行事です。

# 踊ってみませんか！ ステップ軽やかに 社交ダンス・レクダンス

## 楽しく踊れる社交ダンスは 元気の源です

いまから3年ほど前、ダンスをテーマにした「Shall we ダンス？」という映画が人気を集め、ダンスがちよつとしたブームになりました。社交ダンスの持つ華やかさに、だれもが一度は「自分も踊ってみたい」と思ったことがあるのではないのでしょうか。

でも、始めるきっかけはなかなかつかみにくいものです。そんなときは、ダンスサークルの練習を見学したり、体験してみるのも一つの方法です。

ダンスは、習い始めたその日から、気軽にステップを楽しむことができる、といわれています。

また、音楽に合わせて全身を動かすことで、無理なく健康づくりができるため、一種のスポーツとして踊っている方もいます。

市内で活動するダンスサークルのいくつかをレポートしてみました。



大久保勇さん

初心者歓迎・見学自由というサークルが、来年結成15周年を迎える「驚別社交ダンスサークル」。

「ダンス経験のない方は、社交ダンスを難しいもの、という先入観を持っているようですね。でも簡単なステップを覚え、何回も繰り返し踊るうちに



市民レポートは市民のみなさんが自由に発想・企画するページです。

楽しくなってきましたよ。私たちのサークルでは、新会員が入会したその日から踊りを楽しむことができますよう、ベテラン会員がお相手をし、リードしてあげることにしています」と副会長の

大久保勇さん(82)。愛好者約60人のこのサークルでは会員以外も参加できるダンスパーティーを年2回開いています。

「ダンスパーティーはみんな楽しみにして、回数を増やすことになりました。ダンスは頭の体操、ボケ防止を兼ねた手ごろな運動だと思っています。体の動く限り続けたいですね」と語ってくれた大久保さんは、背筋がびんと伸び、とても82歳とは思えないさつそうとした踊りを披露してくれました。

## お花畑で舞う蝶のように 美しく踊ってみたい

社交ダンスを始めた人ならだれしも、お花畑で舞う蝶のように美しく優雅な踊りにあこがれます。

優雅に踊ること聞かせていただく

## 市内の主なダンスサークル

レクダンス		社交ダンス				サークル名	練習会場	問い合わせ
登録レクダンスサークル	つどいサークル	登録レクダンスサークル	レクダンスサークル	登録社交ダンスサークル	登録市老人クラブ連合会ダンスサークル			
婦人センター	若草つどいセンター	登録公民館	市民会館	登録公民館	労働福祉センター	労働福祉センター	労働福祉センター	小西さん (☎2205)
中川さん (☎1626)	遠藤さん (☎8155)	西巻さん (☎7689)	荒木さん (☎5817)	紺屋さん (☎8545)				紺屋さん (☎8545)



▲レクダンスで健康づくりと友達づくり (つどいサークル)



伊藤克夫さん

ため、ダンス歴20年の伊藤克夫さん(73)の練習会場にお伺いしました。伊藤さんは、労働福祉センターで活動している「登録市老人クラブ連合会ダンスサークル」の講師を勤め、一方では、自らダンス教室に通い、技術の向上にも余念がありません。

「まずは繰り返し練習して、ダンスの基本を身につけることですね。ダンス講師や仲間などからの、客観的なアドバイスも必要です。いつも自分自身の踊りを分析して優雅な踊りに近づこう、強く意識することです」と基本を踏まえた練習がレベルアップにつながる。

がることを強調され、「基本が身につけてくると、徐々に踊りが洗練されてきます。カッパルで踊る一体感が身につく、いよいよダンスのだいご味が分かってきます」と説明してくれた伊藤さん。足の運び、手の動作の一つ一つに優雅さがにじみ出るように、気持ちを集めながら練習されていたのが印象的でした。

### ステップを踏みながら汗をかくそう快さ

レクダンスは、歌謡曲やポップス、民謡などのリズムカルな音楽に合わせて、体全体で踊ります。その名のとおりレクリエーションとして、無理なく自由に踊れ、どの会場でもたくさんの方が練習しています。

レクダンスサークルの「つどいサークル」は毎週金曜日、若草つどいセンターを会場に活動しています。副会長でレクダンス歴10年の坂本諒子さん(55)に、レクダンスの魅力をお聞きしました。

「二人の子どもの子育てが終わったころ、友達に誘われて見学に行き、たちまちレクダンスの魅力に引かれ、こ



坂本諒子さん

のサークルに入会しました。仲間と楽しくステップを踏みながら、健康づくりの一つとして、汗をかくそう快さを味わっています。いろんな音楽のリズムに乗って、体全体を動かせる楽しいですね。また、踊るだけでなく、主婦同士で料理や漬物、趣味の話など、交流や情報交換ができるのもうれしいですね。60人ほどの会員がいますが、たくさん友達ができました。これからも生涯の趣味として、ずっと続けていきたいと思っています」と明るく語っていただきました。

### 踊ってみたいと思う気持ち が素質です

ダンスは健康的で、楽しく踊っている方がたくさんいることが分かりました。でも、未経験者にとっては「踊ってみたいけれどダンスの素質がないから」と思い、入門をためらってしまうこともあるのではないのでしょうか。

あるダンス講師の方に「ダンスの素質のない人でも踊れますか」とお聞きしたところ「踊ってみたいという熱意があれば、それが素質ですよ」とおっしゃってくれました。

現代は情報化が進み、感動体験・直接体験の機会が少なくなってきたように感じます。でも、ダンス愛好者は、全国に約一千万人といわれています。あなたも気軽に社交ダンスやレクダンスのサークルをたずね、ステップを体験してみてくださいはいかがでしょう。

あなたも市民リポーターになって、市内の話題やまちの動きなどをリポートしてみませんか。平成12年度市民リポーターについてのお申し込み・お問い合わせは企画広報室(☎1122)まで。

# 元気

宅配便



今月のアドバイザー

くどう 工藤 かおる 薫 保健婦

運動は、栄養、休養とともに健康づくりに欠かすことのできない要素の一つです。

日ごろの運動不足は、肥満や体力の低下を招くこととなり、ひいては生活習慣病に陥ってしまいうケースもあります。

健康の保持・増進と生活習慣病予防に最も効果的な運動は、有酸素運動といわれるもので、具体的にはウォーキング(早歩き)、水中歩き、自転車こぎ、体操などが挙げられます。

有酸素運動を続けると血液の循環が良くなり、心肺機能が高まるとともに血中コレステロールが改善され、高血圧、高血糖、高脂血症などの生活習慣病の予防や肥満解消につながります。

効果的な運動の目安としてウォーキングの場合では、息がはずむ程度のスピードで1日に20分以上、週に2〜3回以上行うことが必要です。



お勧めします。みんなで楽しくウォーキング

## 積極的に体を動かし、生活習慣病の予防を

運動を行う場合は、  
①自分の体調や体力にあわせて、疲れを翌日に残さない程度に行う。

②水分の補給を十分に行う。

③高血圧や心臓病、糖尿病などをもち、体力に自信のない方は、かかりつけの医師と相談しながら行う。

④かぜ気味や睡眠不足など身体の調子が悪いときや、運動中に目まいや冷や汗などの異常を感じた場合は、直ちに運動を中止する。

など、自分の身体と相談しながら行うことが大切です。

歩くことは最も身近な運動で、単に足腰を強くするだけでなく、肺や心臓を強化する効果もあり、健康づくりのための第一歩といえます。

エレベーターより階段を使い、近所の買い物には歩いて行き、休日には風景を楽しみながら散歩するなど、身近なことから始めてみましょう。

人が輝き まちがときめく

# 仲間たち

Group

日本ボーイスカウト北海道連盟登別第1団



貴重な体験と仲間との出会いが、思いやりの心をはぐくみます。

おそろいの帽子と制服を身に着けた、りりしい姿の子どもたち。みなさんも一度はボーイスカウトを見たことがあると思います。

ボーイスカウト登別第1団が結成されたのは昭和36年1月。現在は5歳から21歳までの団員46人が、主に休日を利用して、キャンプや自然観察、ゲーム、スポーツなどの野外活動のほか、郵便ポストの清掃や共同募金の街頭啓発などのボランティア活動にも携わるなど、幅広い活動を行っています。

「子どもたちには、ナイフの使い方や火の起こし方、けがをしたときの救急法など、いろいろなことを教えていますが、ボーイスカウト活動の最大の目的は、一人ひとりの子どもが活動を通じて、どんなときでも他の人の役に立つこと。私たち指導者は、さまざまな技能の習得や体験、遊びを通して、人と自然を思いやる



▲習得した技能が活かされるキャンプ

ことの大切さを子どもたちの心にはぐくんでいます。また、仲間と協力して目標を達成できるよう、お互い助け合うことの大切さも教えています。最近では少子化の影響ででしょうか、入団者が少なくなっています。ボーイスカウトの活動には、家庭や学校ではなかなかできないことがたくさんありますので、「元気いっぱい仲間と一緒に貴重な体験をしてみませんか」と話すのは登別第1団の団委員長、菅野正一さん。

平成8年に入団した緑陽中学校1年生の松島広太くんは「ボーイスカウトで楽しいのは野外活動です。自然の中で、団員の人々と楽しんでいます。今度、ロープの結び方と手旗信号を覚えたいです」とボーイスカウトの楽しさを話してくれました。入団を希望する方は、菅野さん(☎4913)までどうぞ。

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室

☎85 1122  
FAX 85 1108  
E-mail: n-koho@earthcape.ne.jp

中央町 6-11

花火を楽しむのはいいのですが

わが家の子どもたちが小さかったころ、夏の夜にはよく花火をしました。色とりどりの花火、子どもたちの喜ぶ顔、目の輝き。すてきな夏の風物詩「花火」が私は大好きです。

ところが近所の公園では、中高生と思われる若者たちがロケット花火や打ち上げ花火など、空中でとても大きな爆発音がする花火を、夜遅くまでしていて迷惑しています。

花火をすること自体は悪いこととは思いませんが、住宅街で花火をするときは、種類や時間をわきまえて楽しみたいものです。

(富士町 55歳主婦)

砂場にガラスの破片が

3歳になる子どもを連れ、晴れた日には、近所の公園をよく利用しています。ところが砂場にガラスの破片が落ちていたりがあります。見つけ次第拾うようにしているのですが、細かい破片までは拾いきれませんし、子どももまねをして触ろうとして危険です。砂場は、時折、猫などが原因と思われる異臭がすること

がありますが、これは家に帰って子どもの手をよく洗えば済むことで、相手が動物なのだからあきらめがつきます。

でも、ガラスの破片は明らかに人間の作業です。公園でガラスを割る人のモラルを疑ってしまいます。

(柏木町 26歳主婦)

ごみネットが盗まれた

近所のごみステーションのごみネットが古くなって破れてしまったので、新しくごみネットを購入しました。でも、すぐに盗まれてしまったんです。さびしい気持ちでいっぱいです。

(千歳町 43歳主婦)

ふるさとの文化遺産



栗林加寿子の歌碑(船見山)

仲をゆく

しらほのかけの見ゆるかな  
やまの紅葉の梢はなれて

栗林加寿子は登別温泉の発展に功績のあった栗林五朔の妻で、内助の功が大きく、賢夫人と評された女性です。

加寿子が歌の道に入ったきっかけは、手厚い看病のかいもなく、三女が20歳で短い生涯を終えた悲しみをいやすため、といわれています。

加寿子の歌碑は登別温泉の4カ所に建てられています。この歌碑は、昭和14年に、地獄谷第2駐車場と大湯沼を結ぶ船見山遊歩道に建てられたものです。

▶問い合わせ 社会教育課

(☎85 1129)



佐々木りかさん(27歳)

サンチャイルド店長

札内台地で、自然にいっぱい触れてほしい

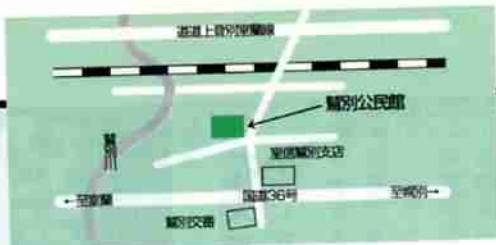
「札内台地の新鮮な空気とゆったりとした自然の中で、動物に触れる機会の少ない子どもたちが、ウサギやヤギ、ポニーなどに直接触れて感動してもらえるのがうれしいです」と店長の佐々木さん。

カラフルな色調の店舗では、生乳や「ラ・フランス」(洋ナシ味)など3種類のソフトクリーム、14種類のアイスクリーム、手作り芋団子、ジンギスカンなどを販売。

店の隣には、小動物園のほか、ミニSLやバギーバイクなどがあって、自然を感じながらのんびりと遊ぶことができます。

「将来は自分の牧場の生乳を使ってソフトクリームを作ってみたい。搾りたての新鮮な牛乳も飲んでもらいたいですね」とこれからの抱負を話してくれました。





「人にやさしいまちづくり事業」の一つとして、障害をもつ方や高齢者が利用しやすい公共施設にするため、市役所本庁舎と市民会館、鉄南ふれあいセンターに続き、鷹別公民館にエレベーターなどを設置します。工事は10月ころから着手し、完成は来年3月を予定しています。(事業費は、5,843万円)

▶問い合わせ 社会教育課(☎01129)



## ② 鷹別公民館エレベーター設置事業



登別中央ショッピングセンター・アニス横に、市民の憩いの場としての公園を新設しています。公園内には、壁泉や樹木、草花などを効果的に配置し、市民が憩える空間を演出します。完成は11月末を予定しています。なお、北駅前通道路改築工事の一つとして架け替えを行っている富士橋は、10月末ごろから人や車の通行ができるようになります。((仮称)ふれあい緑地新設事業の事業費は、9,320万円)

▶問い合わせ 都市計画課(☎04115)



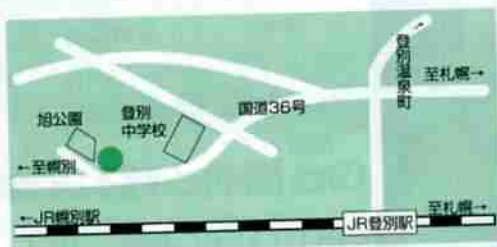
## ① (仮称)ふれあい緑地新設事業

# 進んでいます 進めます

## 市の事業紹介

市は、私たちのまち「のほりべつ」が市民のみなさんに愛され、共に暮らす喜びを見いだせるまちにするため、さまざまなまちづくりを進めています。

今号では、市内で行われている、またはこれから行われる主な事業をお知らせします。



鷹別支署敷地内と富岸青少年会館敷地内、幌別小学校プール横の設置に続き、市内で4カ所目の大容量防火井戸を登別中学校グラウンド内に設置します。この防火井戸は、約100立方メートルの地下水を常時ためておくことができ、断水時の消防用水や非常用生活用水を確保します。工事は、10月ころから着手し、来年3月に完成する予定です。(事業費は、2,370万円)

▶問い合わせ 消防本部(☎09611)



## ④ 大容量防火井戸新設事業

## ③ ロードヒーティング整備事業



こう配が急な坂道である新生1号線の一部(新生町5丁目)をロードヒーティングにします。平成8年度から行われているこの事業は、緊急度の高い路線から始められ、新生1号線で5カ所目となります。工事は、10月ころから始まり、11月末までに完成する予定です。(事業費は、1,700万円)

▶問い合わせ 土木課(☎03260)





イーエスコーク城のあるまちからやってきました

デンマークのウイスリンゲ市は、登別マリパークニクスのシンボルともいえる「ニクス城」のモデル「イーエスコーク」があるまちです。

人口は約7千2百人。平成4年から、毎年、中学生海外派遣団が訪れるなど、登別市と交流が続けられています。

このウイスリンゲ市職員のヨハンセンさんは、来日前まで市役所の勤務を終えた後、車で30分ほどのところにある、オーデンセ大学の夜間コースに週2回通っていました。

「大学では組織運営や人事政策などを学んでいます。これはほとんど民間企業を対象にした、経営効率を向上させるためのコースでしたが、ここ数年自治体など公的組織からも注目され、受講する職員が増えてきました。公務員も民間企業の経営ノウハウを学ぶ傾向が強くなっています。デンマークでは、公的組織の給与体系が、年功序列型から能力重視型に年々変わってくるなど、組織運営の改革が進み、民間企業型に近づき始めています」と、熱心に勉強する動機やデンマークでも行政改革が進んでいることを説明し、続けて「日本では、組織を活性化させるための人事管理に関心があります



▲鬼っ子サミットで子どもたちと楽しく交流

ね」と、今回の研修目標を聞かせてくれました。

**初対面の方にテレホンカードをいただき感動しました**

登別に着いた日、テレホンカードを買いに行ったところ「店員さんが自分のテレホンカードをプレゼントしてくれました。少しびっくりしましたが、うれしかったです」と、来登早々親切な市民に鮮烈な印象を受けたようです。

ヨハンセンさんは、7月3日に市民会館で行われた「鬼っ子サミット」に参加して、小学生たちにおみやげのお菓子を配ったり、デンマークのゲームをして遊ぶなど早速、積極的な交流を始めていました。

きらり

KIRARI

フィン・ヨハンセンさん

外国の地方自治を学ぶため、自治省などが行う自治体職員交流事業の「協力交流研修員」として、デンマークのウイスリンゲ市から来日したフィン・ヨハンセンさん。

登別では研修だけでなく「滞在中、日本の文化や生活習慣の体験を通じて、市民とたくさん交流したい」と意欲を燃やすヨハンセンさんに抱負をお聞きしました。

**定期的な人事異動がある日本の組織運営に関心があります。**



Finn Johansen 1972年1月生まれ、27歳。

デンマーク・ウイスリンゲ市職員。7月1日から12月下旬まで登別市で研修のため初来日。趣味はゴルフ、釣りなど。3年間の兵役経験を持つ。

# かると

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
		5	6	7	8	9
		12	13	14	15	16
		19	20	21	22	23
		26	27	28	29	30

公民館講座  
「縄文に思いをはせるー野焼きー」  
親子で古代人 土器づくりに挑戦  
▼日時・場所・内容

日時	場所	内容
9月5日(日) 9:30 ~15:00	文化伝承館	作品づくり
10月3日(日) 8:30 ~16:00	パークゴルフ倶楽部ジャンボ向かい空き地(川上町304)	野焼き

※10月3日(日)が雨天の場合は、10月11日(月)に延期します。

▼対象 市内に居住し、両日参加できる小学生以上の親子  
▼定員 40人(定員を超えた場合は抽選により決定します)  
▼参加料 1人1千600円(材料費、保険料)  
▼講師 のぼりべつ野焼きの会  
▼申し込み・問い合わせ 8月17日(火)から27日(金)までに社会教育課  
(☎1129)

市民グラウンドゴルフ大会  
参加者募集  
文化・スポーツ振興財団主催  
▼日時 8月24日(火) 受付9時(雨天の場合は8月31日(火)に延期)  
▼場所 市営陸上競技場  
▼対象・参加料 市内に居住または通勤する20歳以上の方・無料

▼持ち物 クラブ、ボールマーカー、運動靴

▼申込方法 8月15日(日)までにグラウンドゴルフ協会加盟者は各地区理事へ、一般参加者は総合体育館へ電話でお申し込みください  
※傷害保険には各自で加入してください。

▼問い合わせ 総合体育館 (☎5552)

藤工芸教室を開催します  
文化・スポーツ振興財団主催

▼日時・場所

月日	時間	場所
8月24日(火)	13:00 ~15:00	市民会館
8月26日(木)		鷺別公民館

▼対象 市内に居住または通勤・通学している方

▼募集人数 各日40人(申込順)

▼内容 藤の果物かこの製作

▼参加料 1千200円(材料費)

▼持ち物 万能はさみ、タオル

▼申し込み・問い合わせ 8月13日(金)まで(土・日曜日を除く)に電話で文化・スポーツ振興財団

(☎1116)

## 8/13(金)~16(月) 富浦墓地行きの無料墓参バスを運行します

### ●美園・上鷺別・鷺別地区

停留所	13~16日	13日のみ
札幌トヨタ上鷺別寮 発	10:00	13:00
松木商店前	10:02	13:02
鷺別中学校前バス停	10:06	13:06
鷺別小学校前バス停	10:07	13:07
東鷺別バス停	10:08	13:08
はまなす団地バス停	10:09	13:09
帝国酸素バス停	10:11	13:11
西富岸バス停	10:13	13:13
富岸バス停	10:15	13:15
開発局前バス停	10:16	13:16
あかしや団地バス停	10:18	13:18
幌別本町バス停	10:23	13:23
市役所入口バス停	10:24	13:24
富浦墓地着	10:30	13:30
富浦墓地発	11:30	14:30

※各地区とも午後の便は13日(金)のみの運行となります。(14日(土)~16日(月)は午前のみ運行)

### ●若草・幌別地区

停留所	13~16日	13日のみ
上鷺別入口バス停 発	10:00	13:00
旭ヶ丘団地バス停	10:01	13:01
若草入口バス停	10:02	13:02
若草中央バス停	10:03	13:03
緑ヶ丘団地バス停	10:04	13:04
千代の台団地バス停	10:05	13:05
新生町1丁目バス停	10:06	13:06
新生町2丁目バス停	10:07	13:07
富岸小学校前バス停	10:08	13:08
道南バス若山営業所バス停	10:09	13:09
総合体育館バス停	10:10	13:10
桜木団地前バス停	10:13	13:13
緑町2丁目バス停	10:14	13:14
登別大谷高校前バス停	10:15	13:15
阪井商店前	10:17	13:17
みゆき旅館前	10:20	13:20
旧NTT登別営業所前	10:21	13:21
市民プール前バス停	10:24	13:24
千歳町4丁目バス停	10:25	13:25
富浦墓地着	10:35	13:35
富浦墓地発	11:35	14:35

### ●幌別・登別地区 (13日午前の便は2台運行)

停留所	13~16日	13日のみ
登別高校バス停 発	10:00	13:00
幌別西小学校バス停	10:01	13:01
市民会館前バス停	10:02	13:02
幌別ホームストア前バス停	10:03	13:03
社宅十字街バス停	10:04	13:04
中央町5丁目バス停	10:05	13:05
幌別小学校バス停	10:06	13:06
幌別東小学校前バス停	10:08	13:08
ソーダ工場前バス停	10:09	13:09
三洋工業前バス停	10:10	13:10
幸町3丁目バス停	10:12	13:12
すずらん団地バス停	10:13	13:13
富浦駅前バス停	10:15	13:15
登別駅前バス停	10:20	13:20
登別バス停	10:21	13:21
登別中学校前バス停	10:22	13:22
登別小学校前バス停	10:23	13:23
富浦墓地着	10:25	13:25
富浦墓地発	11:25	14:25

供物はお持ち帰りください

墓前の供物などは、カラスやキツネなどが食い荒らし、お墓の周りを汚しますので、必ずお持ち帰りください。

問い合わせ

市民課 (☎1855)

## 青年・女性の 国内派遣研修者募集

教育委員会は、青年と女性活動リーダーなどの養成を目的に、3市（登別・室蘭・伊達）合同の国内派遣研修者を募集します。

	青年（男・女）国内派遣研修	女性国内派遣研修
研修期間	10月31日(日)～11月3日(木)	10月28日(木)～11月1日(月)
募集人数	5人	4人
研修先	茨城県水戸市・東京都内	東京都内・埼玉県嵐山町
事前研修	10月16日(土)・17日(日) 伊達市立胆振青年の家	9月30日(木) 登別市市民会館
事後研修	11月下旬	11月下旬
資格	事前事後研修に参加できるおむね18歳から30歳までの男女で、現在青年団体活動をしている方、または今後青年団体活動に参加しようとする方（学生は除きます）	60歳未満の女性。「女性の地域活動について」をテーマにレポート(400字詰め原稿用紙2枚)を提出していただきます。
選考方法	教育委員会に備え付けの参加申込書を提出していただき、面接を行い決定します。	教育委員会に備え付けの参加申込書を提出していただき、面接を行い決定します。
参加負担金	3万円	3万円

▼申し込み・問い合わせ

8月31日

(火までに社会教育課

☎1129)

## 平和を祈って、黙とうを

～原爆の日、終戦記念日～

8月6日広島市・8月9日長崎市原爆の日、また、8月15日の終戦記念日を迎え、原爆死没者と戦争犠牲者を追悼し、世界恒久平和の確立を祈念するため、1分間のサイレン吹鳴を行います。市民のみなさんには、サイレンと同時に1分間の黙とうをお願いいたします。

### ▼日時

- ◎8月6日(金) 広島市原爆の日  
8時15分から1分間
- ◎8月9日(月) 長崎市原爆の日  
11時2分から1分間
- ◎8月15日(日) 全国戦没者追悼式  
12時から1分間

## 出張税務相談を開催します

不動産の譲渡、相続・贈与の税金、パートで働いた場合の税金、住宅を取得した場合の還付金など、税金に関する相談を、札幌国税局税務相談室 小牧分室税務相談官が無料で受け付けます。

▼日時 8月31日(火) 10時～15時

▼場所 鉄南ふれあいセンター

▼問い合わせ 札幌国税局税務相談室 小牧分室  
☎0144-6611

### ◆受験資格

職種	試験区分	要件
行政	大学卒業程度	大学を卒業または卒業見込みで、昭和44年4月2日以降に生まれた方
	短大卒業程度	短大もしくは同程度の専門学校を卒業または卒業見込みで、昭和49年4月2日以降に生まれた方
	高校卒業程度	高校を卒業または卒業見込みで、昭和51年4月2日以降に生まれた方
消防	大学・短大・高校卒業程度	大学・短大（同程度の専門学校を含む）・高校を卒業または卒業見込みで、昭和48年4月2日以降に生まれた方
		【身体条件】身長：160㎝以上、体重：50㎏以上、視力：両眼とも1.0以上（矯正視力の場合は裸眼視力0.5以上）、色覚および聴覚が正常な方

※詳しい受験資格については、受験申込書に添付している試験実施要綱などでご確認ください。

### ◆採用職種・採用予定人数

職種	試験	採用予定人数
行政	大学・短大・高校卒業程度	3人程度
消防	大学・短大・高校卒業程度	2人程度

### ◆試験日時・場所

区分	日時	場所
第1次試験	9月19日(日) 9:30集合	鶴別公民館(鶴別町3丁目3-4 ☎8823)
第2次試験	11月上旬予定	別途通知します

### ◆申込方法

職員課(市役所3階)と各支所に備え付けの受験申込書に必要事項を記入のうえ、職員課へ提出してください。

受付期間	8月2日(月)～8月20日(金) 9:00～17:30 (土・日曜日の受け付けは行いません)
提出方法	持参または郵送(8月20日(金)の消印有効)
その他	受験申込書を郵送で請求または提出する場合は、切手を張った返信用封筒を必ず同封してください

## 申し込み・問い合わせ

登別市役所職員課 ☎1132  
〒059-8701 登別市中央町6丁目11

平成12年度  
登別市職員を募集します

## 市民ウォークラリー 参加者募集

〔登録レクリエーション協会主催〕  
私たちの住むまちを楽しく歩いてみませんか。ゴールの後は流しそうめんを楽しみましょう。

▼月日 8月29日(日)

▼時間 受付9時20分、開会式9時30分、出発10時、流しそうめん12時、表彰式13時

▼場所 レストランいななか村(富岸町3丁目42-1)

▼定員 70人(申込順)

▼参加料 高校生以上300円、小学生200円(幼児は無料)

▼その他 動きやすい服装と歩きやすい靴で参加してください

※雨天の場合は、会場で流しそうめんなどを行います。

▼申し込み・問い合わせ 8月20日(金)までに佐々木さん  
(☎75770)

## 室蘭工業大学公開講座

「中国語の基本短期完成講座」

▼開講日時 9月30日(木)から12月23日(木)までの毎週木曜日(10月21日(木)を除く) 18時30分～20時

▼場所 室蘭工業大学N棟講義室

▼対象 小学校高学年以上の方

▼募集人数 20人

▼講師 富士川計吉さん(室蘭工業大学教授)

▼受講料 9千600円(講習料、教科書)

(代)

▼申込期間 8月23日(月)～9月22日

▼申込方法 申込用紙に受講料を添え、室蘭工業大学教務課窓口へお申し込みください

▼申し込み・問い合わせ 室蘭工業大学教務課(室蘭市水元町27-1) ☎5112

## 「北海道苦情審査委員制度」が6月からスタートしました

北海道は、道政に関する苦情を受け付け、簡単な手続きで問題の解決を図ることを目的とした「北海道苦情審査委員制度」を導入しました。

この制度は、本人の権利・利益にかかわることで、北海道が行った行政処分や行政指導などに不平・不満があるとき、みなさんからの苦情申し立てに基づき、知事から委嘱された苦情審査委員が本人に代わり、苦情の解決に向けて、簡易かつ迅速に処理を行うものです。

苦情の申し立ては、道庁1階の「道民相談センター」のほか、各支庁にある「道民相談室」で受け付けますので、苦情申立書に必要事項を記入のうえ、提出してください。また、郵便やファクスでも申し立てができますので、ご活用ください。

▼問い合わせ 道民相談センター  
(〒060-8558札幌市中央区北3条西6丁目 ☎011-231-4111  
1・ファクス011-241-8181)



## 第36回登別地獄まつり

# 仮装鬼踊り コンテスト

優勝賞金10万円!

## 参加者募集

とき 8月28日(土)  
ところ 登別温泉街

- ▶開催時間 20:40～21:20 (受付19:00～20:30、登別観光協会前)
- ▶審査発表 21:30～21:45、第一滝本館前特設舞台
- ▶参加条件
  - ①個人・団体を問いません
  - ②仮装をして鬼踊り大群舞に参加し、鬼踊りを踊ること
  - ③テーマは自由です
- ▶その他 必ず受け付けをして、ゼッケンを受け取ってください

問い合わせ 登別観光協会 (☎3311)



胆振幌別川

みんなが主役!  
見てみませんか

市は、昨年の春から冬にかけて市内で行われたイベントや市の事業などを紹介したビデオ「ときめきのまちのほりべつ'98」を無料で貸し出しています。

このほかに、胆振幌別川や来馬川、登別川など、市内に流れる主な6つの河川を、その流域に暮らす人々や豊かな自然の四季折々の姿を交えながら紹介したビデオ「未来へ流れるふるさとの川」もあります。希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

企画広報室 (☎1122)

# 広報ビデオ

## まちの活力 みんなの力で!

市内経済に活力を与えるには、みなさんのお力添えが必要です。市内の経済活性化のため、買い物や工事の発注などは、市内の商店・企業を利用しましょう。

## 事件や事故で お悩みの方 勇気を出して ダイヤルを

室蘭警察署  
☎ 0110

### 終戦当時の引き揚げ者の方へ

室蘭税関支署は、終戦後、外地から引き揚げてきた方が、上陸港の税関や海運局に預けられた通貨・証券や、外地の終結地で総領事館などに預けられた証券などのうち、日本に送り返されたものをお返ししています。

▼**相談時間** 9時30分～15時  
▼**相談場所** 北海道障害者職業能力開発校（砂川市焼山60）  
▼**訓練科目** 情報ビジネス科、プログラム設計科、家具工芸科、建築設計科、シヨップマネジメント科、被服縫製科ほか  
▼**申し込み・問い合わせ** 北海道障害者職業能力開発校  
☎ 01255 2774

▼**請求期限** 平成14年4月1日まで  
▼**問い合わせ** 社会福祉課  
☎ 1911

戦没者死亡当時の三親等内親族で次の要件を満たす方に、特別弔慰金（額面24万円、6年償還の国債）が支給されます。

①今までに特別弔慰金の受給権を取得した遺族がないこと  
②平成11年4月1日において、戦没者の死亡にかかる公務扶助料や遺族年金などの受給権者がいないこと

▼**相談期間** 平成12年3月7日(火)まで（土・日曜日、祝日を除く）  
▼**相談時間** 9時30分～15時  
▼**相談場所** 北海道障害者職業能力開発校（砂川市焼山60）  
▼**訓練科目** 情報ビジネス科、プログラム設計科、家具工芸科、建築設計科、シヨップマネジメント科、被服縫製科ほか  
▼**申し込み・問い合わせ** 北海道障害者職業能力開発校  
☎ 01255 2774

### 入校前の適正相談を 行っています

北海道障害者職業能力開発校は、平成12年度の入校希望者を対象に、障害の程度や能力に応じた訓練科目を選択できるように、相談を行っています。

返還の申し出は、本人だけでなく家族の方でも結構です。心当たりの方はお問い合わせください。

▼**問い合わせ** 室蘭税関支署  
☎ 07201

## 機動職業訓練（造園科） 学生募集

室蘭公共職業安定所は、45歳以上の雇用保険受給資格者を対象に、造園に関する知識や技能の習得と、再就職の促進を図るため、機動職業訓練（造園科）の学生を募集します。

- ▶**対象** 技能習得が可能な雇用保険受給資格者（45歳以上の男女）で、習得意欲があり、職業安定所の受講指示を受けられる方
- ▶**訓練期間・時間** 10月1日(金)から12月14日(火)まで（土・日曜日、祝日を除く）・9時～16時
- ▶**訓練場所** 榎丸勇小笠原緑化（中登別町1丁目70）
- ▶**定員** 20人
- ▶**内容** 造園作業に関する学科・実技（計350時間）
- ▶**手当** 雇用保険受給者には、基本手当、受講手当、通所手当が支給されます
- ▶**申込方法** 8月2日(金)から9月10日(金)までに、入学願書と健康診断書を室蘭公共職業安定所1番窓口（室蘭市海岸町1丁目20）に提出してください
- ▶**入学選考日時・場所** 9月22日(火)9時・室蘭高等技術専門学院（室蘭市東町3丁目1-11）
- ▶**選考方法** 適性検査、面接

問い合わせ／室蘭公共職業安定所 ☎ 8689

## 食中毒に気をつけて！ 家庭ですでにできる食中毒予防

食中毒は、細菌の活動が活発になる夏に一番多く発生しています。食中毒の発生を未然に防ぐには、家庭での予防対策が大切です。日ごろから次の食中毒予防の3原則と6つのポイントを守り、食中毒を予防しましょう。

### ●食中毒予防の3原則

食中毒菌を  
つけない・ふやさない・ころす

### ●食中毒予防の6ポイント

- ①生鮮食品は新鮮なものを購入する
- ②冷蔵庫は10度以下、冷凍庫はマイナス15度以下に保つ
- ③下準備時は手を洗い、調理器具を洗浄・消毒する
- ④加熱して調理する食品は、中心部の温度を75度で1分以上加熱する
- ⑤温かい料理は65度以上、冷やして食べる料理は10度以下に保ち、できるだけ早く食べる
- ⑥残った食品は冷蔵保存し、温めなおすときは十分に過熱する

▼閻魔大王からくり山車



▼鬼みこし暴れねりこみ



第36回 登別  
地獄まつり  
1999.8月27金 28土 29日

鬼が出る。心が踊る。泊まって極楽「のぼりべつ」。



好き  
このまちが  
ま ち の 風 景  
8 月

圧巻、絢爛、迫力、熱気。  
地獄まつりがやってくる

今年も地獄絵巻の封が解かれる季節  
がやってきました。

若衆たちが重さ約1トの赤鬼みこし  
を担ぎ、沿道を練り歩く「鬼みこし暴  
れねりこみ」や憤怒の形相の閻魔大王  
が地獄の審判を下す「閻魔大王からく  
り山車」など、さまざまなイベントが  
繰り広げられる3日間。

迫力の夏祭り「第36回登別地獄まつ  
り」へ、ご家族おそろいでお越しくだ  
さい。

▼日時

8月27日(金) 18時30分～21時30分

28日(土) 18時30分～21時45分

29日(日) 12時～21時45分

▼会場

登別温泉街

▼問い合わせ

登別観光協会

(TEL) 0143-3111

となりまちホットライン

白老町

第21回虎杖浜温泉観光湯まつりで  
お待ちしております

カニの身と野菜がたっぷりのカニなべ  
と、ホタテ、イカ、ツブなどの海鮮焼き  
の美味しいおいが、あなたの食欲をそ  
そります。

おなががいっぱいになったら、ニジマ  
スのつかみ取り、カラオケ大会などのイ  
ベントに挑戦してみましょう。

おいでください。

▶月日 8月21日(土)・22日(日)

▶場所 ホテルほくよう横広場

▶問い合わせ 虎杖浜温泉観光湯まつり  
実行委員会 (TEL) 0144-2231

室蘭市

イタンキサマーフェスティバルで  
夏を楽しみませんか

8月7日(土)・8日(日)、イタンキ浜周辺  
で開催される「イタンキサマーフェス  
ティバル」の主な催しを紹介します。

◎道新花火大会…7日(土)19時45分～20時  
30分

◎全道大会第4戦スケートボード大会…  
8日(日)10時～15時

◎宝探し…8日(日)11時30分～12時30分

◎砂の造形展…8日(日)11時～13時

▶問い合わせ イタンキサマーフェス  
ティバル実行委員会事務局・藤当さん  
(TEL) 2257

伊達市

勇壮華麗な戦国絵巻  
「伊達武者まつり」で夏燃える

武士による開拓の歴史と伝統を今に伝  
える「伊達武者まつり」が開催されます。  
まつりの夜を彩る「伊達武者山車」はダ  
イナミックに市内をパレード。また「伊  
達騎馬総陣立」では、総勢350人の甲冑  
武者が武家屋敷風の街並みを行進します。

◎伊達武者山車…8月7日(土)18時30分に  
JR伊達紋別駅前を出発し、市内を練  
り歩きます。

◎伊達騎馬総陣立…8月8日(日)13時30分  
から市内をパレード。

▶問い合わせ 伊達市商工観光課  
(TEL) 0142-23331